

<p>自治体名</p>	<p>福島県いわき市【遠野地区】</p> 
<p>自治体の概要 主な特色 PRポイント</p>	<p>【概要】 いわき市は、福島県の東南端、茨城県と境を接する、広大な面積を持つまちで、東は太平洋に面しているため、寒暖の差が比較的少なく、温暖な気候に恵まれた地域です。 地形は、西方の阿武隈高地（標高 500 から 700 メートル）から東方へゆるやかに低くなり、平坦地を形成し、夏井川や鮫川を中心とした河川が市域を貫流し、太平洋に注いでいます。</p> <p>○人口 316,058 人（令和7年3月1日現在）</p> <p>○世帯 141,327 世帯（令和7年3月1日現在）</p> <p>○面積 1232.51 平方キロメートル （令和6年4月1日現在）</p> <p>【自治体 PR】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いわき市は東北地方に位置しますが、雪がほとんど降りません！ 寒暖の差が比較的少なく、温暖で過ごしやすい気候で、全国的にも日照時間が長く、人も自然も太陽の恵みをたっぷり浴びれる、自然豊かなまちです。 マリンスポーツ、サイクリング、ゴルフなどのアクティビティを1年間楽しめます！ ・寒流と暖流が交わる「潮目の海」で獲れる水産物や水産加工品は、「常磐もの」として人気です！日照時間が年間 2,000 時間以上と日本有数なため、美味しい野菜や果物、お米を楽しめます！  <p>日本のフラ文化発祥の地 “フラシティいわき”</p>  <p>休日にはサーフィン等も楽しめる</p>    <p>自然の恵みに恵まれた自然の幸</p>

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

・「スパリゾートハワイアンズ」をはじめ、「環境水族館アクアマリンふくしま」や、「国宝白水阿弥陀堂」、「いわき湯本温泉郷」など、ご家族やご友人と楽しめる観光・文化施設もたくさんあります。

また、本市唯一のプロスポーツクラブ“いわきFC”がJ2で躍動しており、ホーム戦では多くのサポーターが熱い声援を送っています！



観光・文化・スポーツも楽しめる

アクセス方法
(参考経路)

- ・常磐線(特急ひたち) JR 東日本品川駅～JR いわき駅 約2時間30分
- ・常磐自動車道 三郷 I.C～いわき湯本 I.C 約2時間14分

主な地域課題

いわき市遠野町は、いわき市の西部に位置する人口 4,510 人の地域です。地域住民のうち、高齢者の割合が4割を占めており、地域には少子高齢化・担い手不足に起因する様々な課題があります。

地域が抱える課題の1つに、福島県指定伝統的工芸品「遠野和紙」の製作技術の継承というものがあります。遠野和紙は、いわき市遠野町で 400 年以上前から伝わる伝統和紙です。

平成 26 年に最後の和紙職人が亡くなられてからは、地元有志により構成される和紙保存団体や、市が配置する地域おこし協力隊により、和紙の製作技術の継承に向けた取組みが行われています。

今後、次世代まで遠野和紙の製作技術を継承していくためには、有志団体や協力隊のみならず、広い世代に遠野和紙を知っていただき、和紙に関わる人を増やしていくことや、担い手の確保・育成が必要です。

受入時期

令和7年8月～令和7年12月

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

<p>ワーケーションプログラム内容</p> <p>右記のプログラムから、泊数に応じてご希望の内容を組み合わせて実施していただきます。</p>	<p>以下の中から、最低2つ以上のプログラムを体験していただきます。</p> <p>①【自然を満喫】遠野町めぐりでリフレッシュ！ 遠野町は、四季折々たくさんの見どころがあります。「遠野町あるきおでかけマップ」を片手に、遠野町を散策しませんか？ (主な観光資源) ・八坂神社の二本杉 ・ふるさと富士百名山選出「滝富士」 ・「上遠野城跡（八潮見城）」 ・鮫川急流の景勝地「龍神峡」</p> <p>②【遠野和紙関連作業A】「楮畑」の芽かき・刈り取り作業（8月～10月） 和紙保存団体の皆さんと、和紙の原料となる「楮」の畑作業を行います。 体を動かして仕事の疲れをリフレッシュ！</p> <p>③【遠野和紙関連作業B】和紙の製作現場の視察・紙漉き体験（11月, 12月） 紙漉き作業は冬が本番！和紙保存団体の皆さんの作業の様子を見学し、紙漉きを体験します。 ※体験料 8,000 円/人</p> <p>④【地域と交流】和紙保存団体および地域おこし協力隊との交流会 地域で和紙の原料となる楮畑の管理や、和紙の製作・保存に取り組んでいる地域団体および地域おこし協力隊との交流会を実施します。</p> <p>⑤【遠野町から車で15分の温泉街】湯本温泉×和紙×ワーケーション ワーケーションの期間は、温泉街に宿泊しながら遠野町に通ってみませんか？仕事に疲れたら遠野町へ、遠野町で体を動かしたら湯本温泉へ！</p>
<p>主な対象事業者</p>	<p>●伝統文化/伝統技術に関するコンサルティング・マーケティングに強みがある事業者 ●農業の人材派遣・農作業受託等一次産業のサポートに強みがある事業者</p>
<p>受入上限数</p>	<p>10名程度</p>
<p>未就学児の子ども受入</p>	<p>【可・不可】</p>
<p>事業者に期待すること</p>	<p>●ワーケーション終了後も継続して遠野町に関わっていただくこと ●楮畑作業の従事者や、和紙の漉き手の担い手確保に向けた提案をいただくこと ●伝統文化・伝統技術を地域で継承していくための持続可能な生産体制の具体的な提案をしていただくこと</p>

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

留意事項	<ul style="list-style-type: none">●市は、体験プログラムに係る送迎はいたしません。遠野町の移動には車が必要ですので、自家用車でお越しになるか、レンタカーの手配等交通手段の確保をお願いいたします。●楮畑作業体験をされる場合には、作業の前日までに、遠野支所（遠野町根岸白幡 40-1）窓口にていわき市市民公益活動災害補償保険（ボランティア保険）に加入してください。
------	--